



信金中央金庫
SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス No.2020-71
(2021. 1. 19)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <https://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

コロナに負けない中小企業（1）

－ 縫製と刺繡ししゅうの高い技術で匠が創る「おしゃれマスク」を開発 －

井上 有弘

ポイント

- 当社は、縫製と刺繡の高い技術をもつ「刺繡もできる縫製業」である。人気アイドルグループのステージ衣装など高付加価値の製品が多く、縫製、刺繡技術は内外から高い評価を受けている。
- コロナ禍によりほとんどのイベントが中止、アパレル業界の売上も急減したため、縫製・刺繡の依頼は激減した。売上がほとんど無い時期が続き、一時は廃業を意識することもあったという。
- そんな折、信用金庫の担当者の提案と励ましがマスク開発のきっかけとなった。オリジナル刺繡をいれた「おしゃれマスク」を開発し、販路についても信用金庫業界のネットワークを活用した。

1. 縫製業の経験をもとに「刺繡」に進出

当社は、社長の久保利昭氏が東京の下町、葛飾区堀切で営む「刺繡もできる縫製業」である。先代から引き継いだ縫製については40年近い経験があり、その実績・技術に加えて新たに2017年に刺繡部門を立ち上げ、オリジナル刺繡の分野にも進出している(図表1)。海外企業との価格競争にさらされる縫製に新たな価値を加えるため、社長が独自に研究を進めてきたものである。刺繡の出来栄は、図案や文字からつくる刺繡の型となる「刺繡データ」による部分が大きく、当社はこの刺繡データの作成段階から自社内で行うことができる。このため、デザインや色など細かな要望にも迅速に応えることができ、その技術の高さから刺繡データの作成のみを請け負うこともある(図表2)。

当社製品は、人気アイドルグループのステージ衣装やパリ・コレクション参加の高級ブランド品をはじめ、高付加価値のものが多く、縫製、刺繡技術は内外から高い評価を受けている。

2. コロナ禍で一時は廃業も選択肢に

縫製と刺繡の技術の高さから、コロナ禍の前までは安定した受注を確保していた。ところが、コロナ禍により3月以降は全国的にほとんどのイベントが中止となり、アパレル業界の売上急減から発注元企業が倒産したこともあって、縫製・刺繡の依頼は激減した。売上がほとんど無い時期が続き、感染収束も見通せないなか、一時は廃業を意識することもあったという。

(図表1) 当社の概要

企業名	有限会社 オオクボ縫製 (1961年創業)
所在地	東京都葛飾区
代表者	久保利 昭
事業内容	縫製、刺繡(マスク、洋服、雑貨などへのネーム・ロゴなどオリジナル刺繡)
社員数	3名
ホームページURL	http://okubo-embroidery.com/
取引信用金庫	城北信用金庫 堀切支店

(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

(図表2) 当社の高い刺繡技術



「コンピューターミシン」による刺繡の様子。予め作成した刺繡データをもとに自動で刺繡されるが、職人の長年の経験によって糸の落とし方やなびき方に差が出てくる。このため当社では、熟練の職人が丁寧に作業している。

(備考) 当社HPより信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

3. 信用金庫の提案でオリジナルマスクを開発

そんな折、城北信用金庫堀切支店の担当者の提案と励ましがマスク製造のきっかけとなった。不織布製マスクの流通は回復しつつあったが、デザイン性の高いマスクは少なく、当社の技術が活かせるのではないかとという提案である(図表3)。また、販路開拓についても信用金庫業界のネットワークを紹介してもらった。関係者の息子が高校球児であり、夏の甲子園大会は中止となったものの地区大会は行われており、応援の際に着けるマスクに校章を刺繍してお揃いにしたいという相談であった(図表4)。

オリジナル刺繍入り「おしゃれマスク」(1個1,200円〜)は、スポーツチームのほか神社の御朱印をあしらったものなどもあり、コロナによる売上減を補うほどの人気となった。また、ECサイトが簡単に開設できるサービス「BASE」(ベイス)により、ネットショップも開設した。

当社の高い技術はマスク製作にも存分に活かされている。あごのラインがきれいにみえる形状、ゴム紐の太さや調節のし易さ、鼻の部分の形を整えるノーズワイヤーにもこだわる。表側にはデニムやシルク調のもの、裏地には接触冷感素材や保湿効果が期待できる椿オイル配合生地を使うこともある。堀切支店の支店長をはじめ身近な使用者の意見を素早く取り入れてきた結果、形状や生地、縫製や刺繍の工夫などの改善はすでに30回以上におよぶという。

4. マスクをおしゃれアイテムに

コロナ禍においても事業を継続し、売上が回復できた要因として、次の点が考えられる。

1点目は、縫製に加えて隣接する刺繍についても研究を進め、経営環境の変化に対応できるだけの高い技術力をもっていたことである。

2点目は、技術力を起点に、信用金庫担当者の提案を取り入れ、自社製品開発と販路開拓に素早く取り組み、改善を続けた対応力である。

3点目として、業界ネットワークも活かした信用金庫による機動的な支援があげられよう。

「お客さんが喜んでくれることが何より嬉しい」と語る大久保社長は、今やおしゃれアイテムとなったマスクに縫製と刺繍の技を託し、優しい笑顔をみせてくれた(図表5)。以上

※こんな時だからこそ全国に伝えたい! 「コロナに負けない中小企業」の情報をぜひ当研究所までお寄せください。当シリーズへ掲載をお願いする場合があります。

(図表3) 当社のオリジナル「おしゃれマスク」



(備考) 当社HPより信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

(図表4) 当社マスクを着けての応援



高校の校章をいれたオリジナルマスクをつけた野球部応援団

(備考) 当社HPより信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

(図表5) 大久保社長、智子氏、幹也氏と支店長



(備考) 1. 左から大久保社長、智子氏、幹也氏、城北信用金庫堀切支店の船山支店長。後ろは刺繍機と刺繍糸
2. 信金中央金庫 地域・中小企業研究所撮影